

## 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
「パインブリッジ・デイリー・ミックス・オープン  
(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、このたび  
第1期の決算を行いました。当ファンドは株価指数先物  
取引や債券先物取引等の値動きのある資産等を実質的な  
主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指し  
ます。また、(為替ヘッジあり)は、実質組入れの外貨建て  
資産について原則として為替ヘッジを行います。(為替  
ヘッジなし)は、原則として為替ヘッジを行いません。  
当作成対象期間もこれに沿った運用を行いました。ここに、  
その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し  
上げます。

## 当期の状況

(為替ヘッジあり)

基準価額	(当期末)	10,118円
純資産総額	(当期末)	1百万円
騰落率	(当期)	1.2%
分配金合計	(当期)	0円

(為替ヘッジなし)

基準価額	(当期末)	10,372円
純資産総額	(当期末)	1百万円
騰落率	(当期)	3.7%
分配金合計	(当期)	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を再投資したものとみなして計算して  
います。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)  
に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨  
を定めております。右記<お問い合わせ先>ホーム  
ページの「基準価額一覧」または「ファンド一覧」  
から当ファンドのファンド名称を選択することにより、  
当ファンドのページにおいて運用報告書(全体版)  
を閲覧およびダウンロードすることができます。  
運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付  
されます。運用報告書(全体版)をご請求される方は、  
販売会社までお問い合わせください。

# 交付運用報告書

## パインブリッジ・ デイリー・ミックス・ オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

第1期

(2021年5月11日～2021年9月29日)

第1期(決算日:2021年9月29日)



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 J Aビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

電話番号 / 03-5208-5858

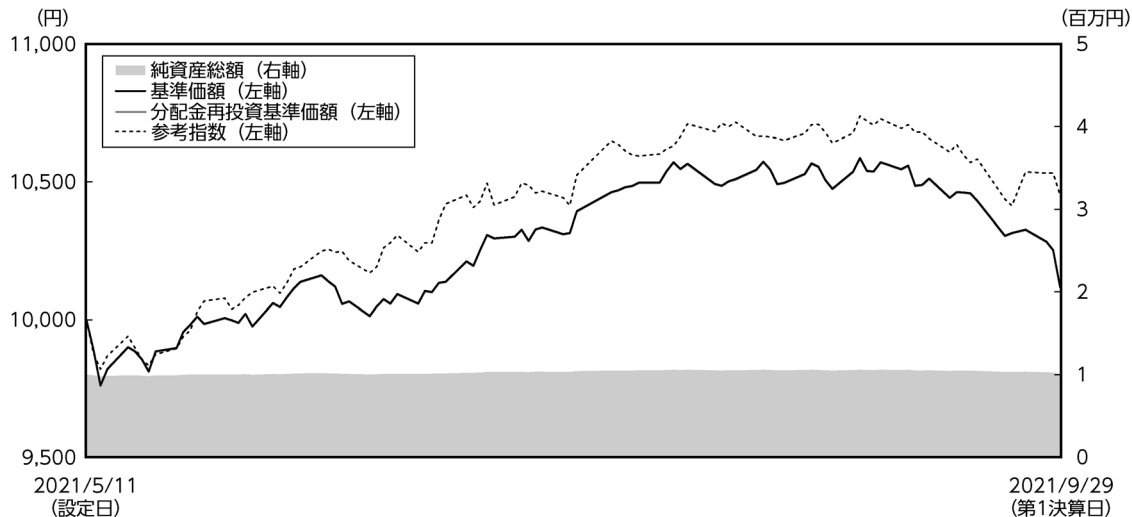
(受付時間 / 9:00～17:00(土、日、祝休日を除く))

ホームページ / <https://www.pinebridge.co.jp/>

## 運用経過 (2021年5月11日～2021年9月29日)

### 基準価額等の推移

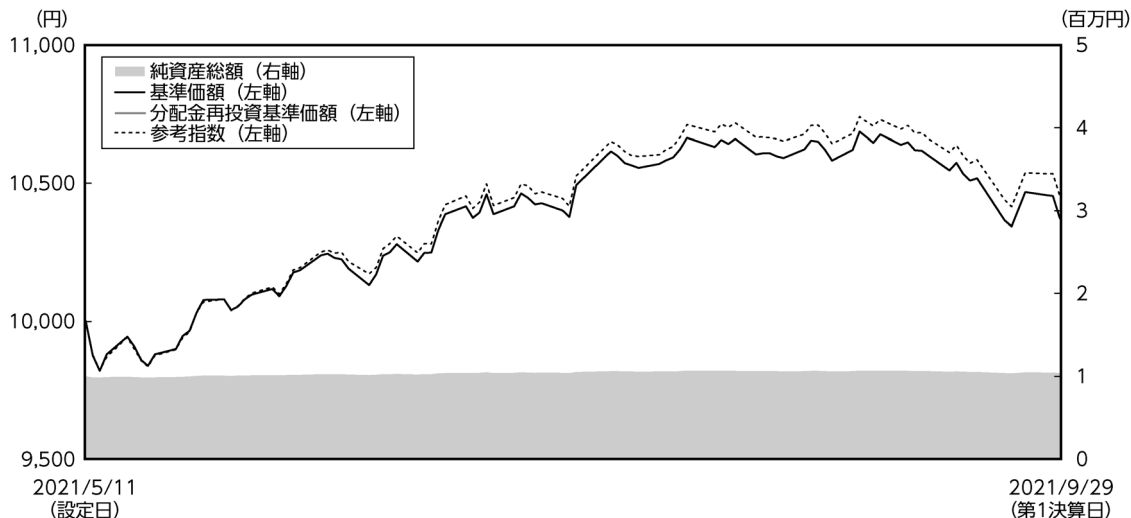
<為替ヘッジあり>



期 首 : 10,000円  
第 1 期 末 : 10,118円  
(作成対象期間中の既払分配金 : 0円)  
騰 落 率 : 1.2% (分配金再投資ベース)

- ※分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。
- ※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数 (円換算) です。設定日の基準価額をもとに指数化しています。

<為替ヘッジなし>



期 首：10,000円  
 第1期末：10,372円  
 （作成対象期間中の既払分配金：0円）  
 騰落率：3.7%（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。  
 ※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 ※参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です。設定日の基準価額をもとに指数化しています。

**基準価額の主な変動要因**

<為替ヘッジあり>

当ファンドの投資対象である「V L グローバルバランスマザーファンド」の基準価額が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。組入先物について、主に米国株式、欧州株式の上昇、欧州債券、米国債券の金利低下がプラスに寄与しました。

<為替ヘッジなし>

当ファンドの投資対象である「V L グローバルバランスマザーファンド」の基準価額が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。組入先物について、主に米国株式、欧州株式の上昇、欧州債券、米国債券の金利低下がプラスに寄与しました。為替については円安米ドル高の進行がプラスに寄与しました。

<マザーファンド>

基準価額は上昇しました。組入先物について、主に米国株式、欧州株式の上昇、欧州債券、米国債券の金利低下がプラスに寄与しました。為替については、円安米ドル高の進行がプラスに寄与しました。

## 1万口当たりの費用明細

<為替ヘッジあり>

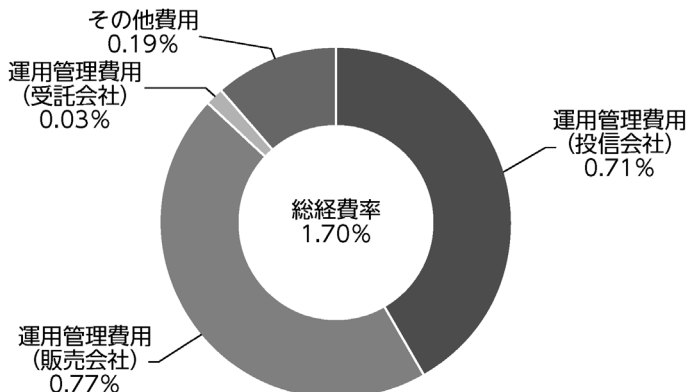
項目	第1期 (2021.5.11~2021.9.29)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	61円	0.591%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,297円です。
(投信会社)	(29)	(0.278)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(31)	(0.300)	交付運用報告書各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	4	0.039	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(1)	(0.005)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(3)	(0.033)	
その他費用	8	0.073	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人に支払われる当ファンドの監査費用
(印刷)	(3)	(0.032)	印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・届出・交付に係る費用
(その他)	(4)	(0.039)	証拠金利息
合計	73円	0.703%	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## <参考情報> 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.70%です。



※費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

※各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値です。

※上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

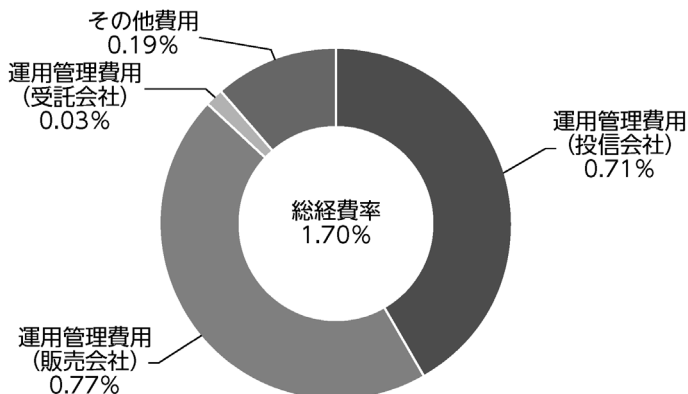
<為替ヘッジなし>

項 目	第1期 (2021.5.11～2021.9.29)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信託報酬	61円	0.591%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,392円です。
(投信会社)	(29)	(0.278)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(31)	(0.300)	交付運用報告書各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	4	0.039	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(1)	(0.005)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(3)	(0.034)	
その他費用	8	0.074	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人に支払われる当ファンドの監査費用
(印刷)	(3)	(0.031)	印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・届出・交付に係る費用
(その他)	(4)	(0.040)	証拠金利息
合 計	73円	0.704%	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

<参考情報> 総経費率

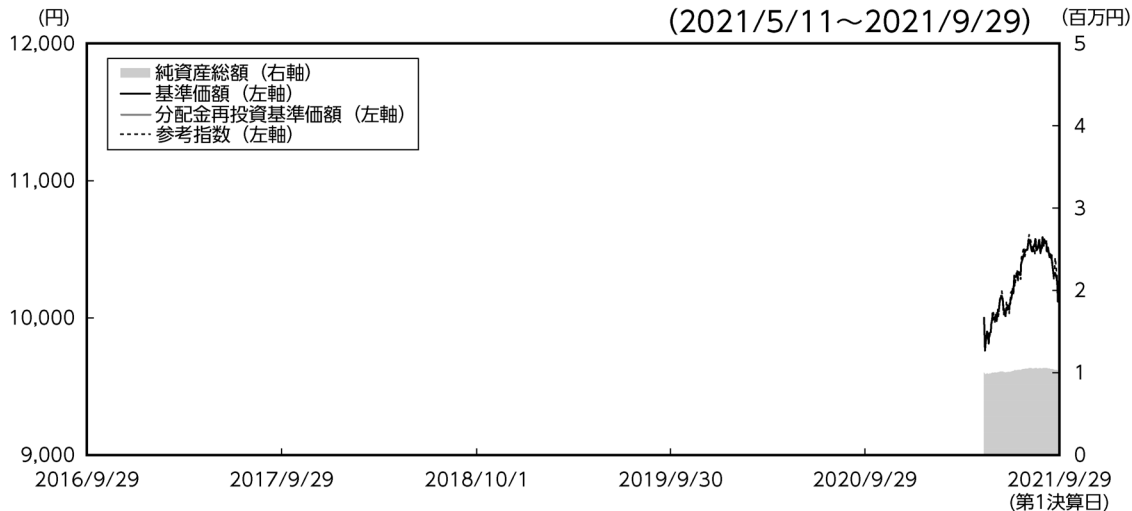
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



※費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
※各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
※各比率は、年率換算した値です。  
※上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

<為替ヘッジあり>



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。

※参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。設定日の基準価額をもとに指数化しています。

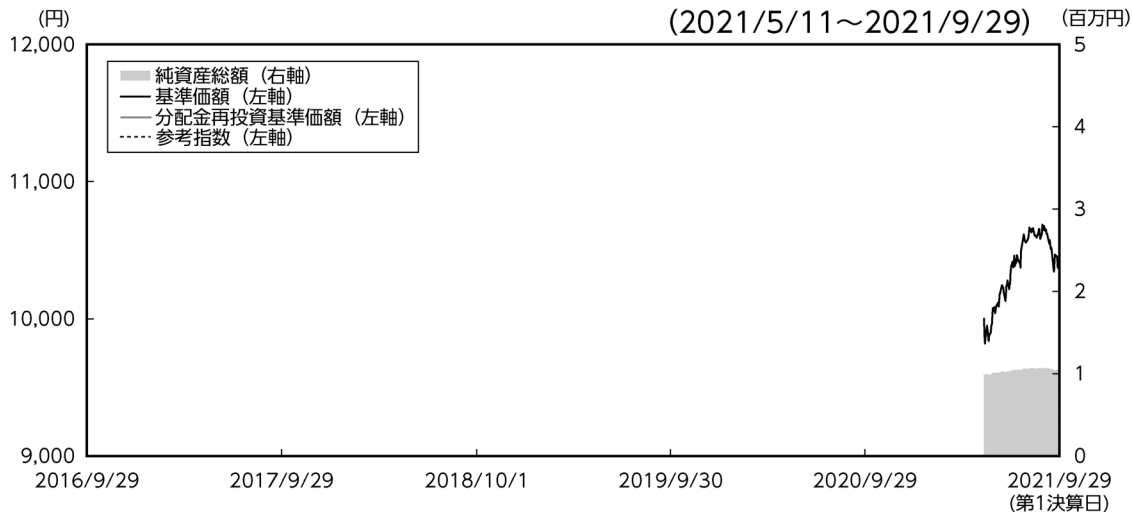
						2021/9/29 決算日
基準価額	(円)					10,118
期間分配金合計（税込み）	(円)					0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)					1.2
参考指数の騰落率	(%)					4.5
純資産総額	(百万円)					1

※2021/9/29決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

### ●参考指数に関して

参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です。

<為替ヘッジなし>



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、当ファンドは既払分配金がありませんので、分配金再投資基準価額と基準価額は同一です。  
 ※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 ※当ファンドは、設定日から5年間経っていませんので、設定来の推移を表示しています。  
 ※参考指数は先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。設定日の基準価額をもとに指数化しています。

						2021/9/29 決算日
基準価額	(円)					10,372
期間分配金合計（税込み）	(円)					0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)					3.7
参考指数の騰落率	(%)					4.5
純資産総額	(百万円)					1

※2021/9/29決算日の騰落率は、設定日との比較を表示しています。

## 投資環境について

株式市場は、期を通して各国の金融緩和政策や財政政策に下支えされ、堅調に推移しました。期の半ばには新型コロナウイルス感染者数再拡大による景気減速懸念や、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融政策に対するタカ派的な姿勢、中国当局による規制導入に対する不透明感などを受けて株価が調整する局面があったものの、期首から上昇して期末を迎えました。

米国長期金利は、期首では物価上昇懸念や力強い景気回復期待を受けて2020年2月以来の高水準であったものの、物価上昇圧力が一過性であるという見方が市場に浸透したことや変異株による景気減速懸念などから、金利は低下しました。その後、9月に入ると、テーパリング終了時期が2022年半ばと推測されたことやウイルス感染状況が改善していることなどを受けて金利が上昇したものの、期首からは低下して期末を迎えました。

ドイツ長期金利は、変異株感染拡大による再都市封鎖の懸念や中国当局による規制導入の影響などを受けて、低下しました。その後、堅調な経済指標やECB（欧州中央銀行）の量的緩和策の規模を減額することを発表したことなどを受けて金利は上昇したものの、期首と比較して金利は小幅に低下して期末を迎えました。

米ドル円は、ワクチン接種の遅れを背景に相対的に日本の経済活動が停滞する懸念から円安米ドル高が進みましたが、その後、変異株拡大や物価上昇に対する懸念が和らぎ米国長期金利が低下すると、円高米ドル安に反転しました。9月に入り、再び米国長期金利が上昇すると、米ドル高に転じ、期首からは円安米ドル高で期末を迎えました。



## ポートフォリオについて

### <為替ヘッジあり>

期中を通じて「V Lグローバルバランスマザーファンド」への投資を高位に維持しました。また、為替については、当ファンドの基本方針通りに、対円でのヘッジを行いました。

### <為替ヘッジなし>

期中を通じて「V Lグローバルバランスマザーファンド」への投資を高位に維持しました。

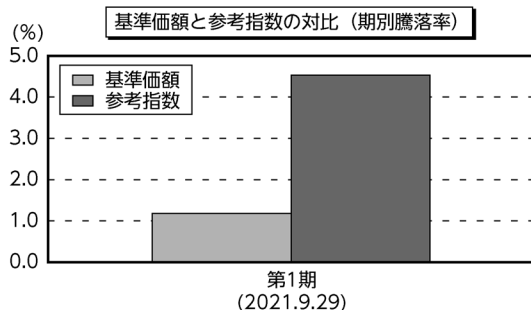
### <マザーファンド>

リスク・パリティ戦略に基づき、ファンド全体のボラティリティを一定水準（20%程度）以下に維持しつつ、先進国株式の株価指数先物取引（S&P500種指数先物、EURO STOXX50指数先物、FTSE100指数先物、日経225先物）と先進国債券の債券先物取引（米国10年国債先物、ドイツ10年国債先物）の買建てを行い、参照指数の中長期的な動きが概ね反映される投資成果を目指しました。

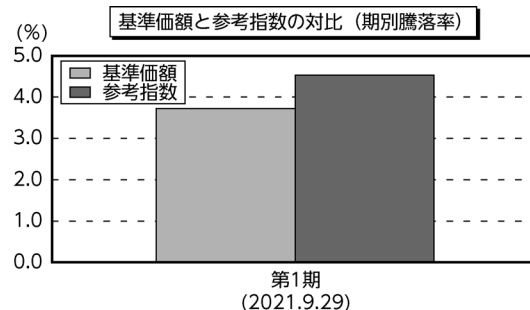
## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資基準価額）と参考指数の騰落率の対比です。

### <為替ヘッジあり>



### <為替ヘッジなし>



## 分配金について

### <為替ヘッジあり>

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、運用状況等を勘案して見送らせていただきました。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

#### ●分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項 目	第1期
	2021年5月11日～2021年9月29日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	117

### <為替ヘッジなし>

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、運用状況等を勘案して見送らせていただきました。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

#### ●分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項 目	第1期
	2021年5月11日～2021年9月29日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	372

※「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」と「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から、それぞれ当期の分配に充当した額の合計を表示しています。なお、「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の市況見通しと運用方針

### 今後の市況見通し

引き続き変異株による懸念はあるものの、各国でワクチン接種が進んでいることから経済活動正常化が進展し、各国における相対的に緩和的な財政政策や低金利環境が株式市場を下支えすると見えています。

一方で、今後景気回復が進むなか、金融緩和政策の正常化などの議論が進み、各国金利上昇圧力が生じると考えられます。今後、これらの金融政策の方向性や、中国市場における政策・規制動向の不透明感によって、市場の変動率が高まる可能性があります。引き続き、景気回復の進展度合いや、政府・中央銀行による政策方針の変化などに注視し、運用してまいります。

### 運用方針

#### <為替ヘッジあり>

当ファンドの基本方針に従い、「V L グローバルバランスマザーファンド」を高位に組入れ、安定した収益の確保を目指します。実質組入れの外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、原則として為替のヘッジを行います。

#### <為替ヘッジなし>

当ファンドの基本方針に従い、「V L グローバルバランスマザーファンド」を高位に組入れ、安定した収益の確保を目指します。

#### <マザーファンド>

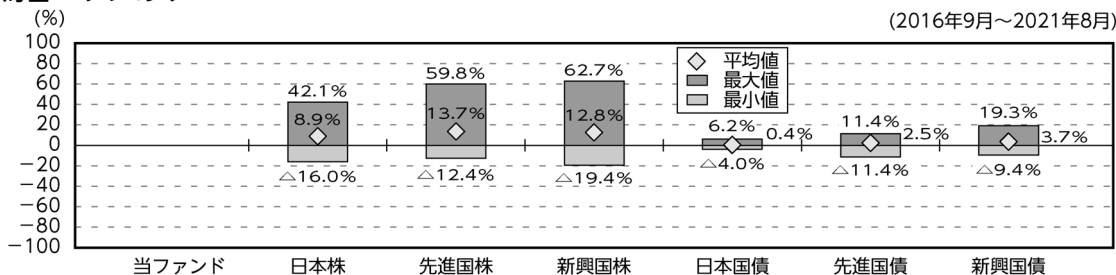
リスク・パリティ戦略に基づき、ファンド全体のボラティリティを一定水準（20%程度）以下に維持しつつ、先進国株式の株価指数先物取引（S&P500種指数先物、EURO STOXX50指数先物、FTSE100指数先物、日経225先物）と先進国債券の債券先物取引（米国10年国債先物、ドイツ10年国債先物）の買建てを行い信託財産の中長期的な成長を目指します。

## 当ファンドの概要

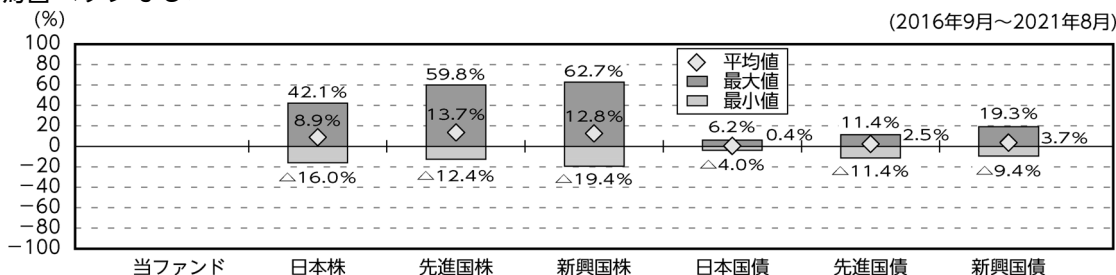
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2021年5月11日から2031年4月30日まで	
運用方針	<p>・「V L グローバルバランスマザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）」への投資を通じて、リスク・パリティ戦略に基づき、ファンド全体のボラティリティを一定水準（20％程度）以下に維持しつつ、先進国株式の株価指数先物取引（S&amp;P500種指数先物、EURO STOXX50指数先物、FTSE100指数先物、日経225先物）と先進国債券の債券先物取引（米国10年国債先物、ドイツ10年国債先物）の買建てを行い、参照指数の中長期的な動きが概ね反映される投資成果を目指します。</p> <p>・参照指数は、先進国株式の株価指数と先進国債券の債券指数の構成比率をリスク・パリティ戦略に基づき日々算出し、そのリターンで合成した指数（円換算）です。</p> <p>&lt;為替ヘッジあり&gt;</p> <p>・実質組入れの外資建資産については、為替変動リスクを低減するため、原則として為替ヘッジを行います。</p> <p>&lt;為替ヘッジなし&gt;</p> <p>・実質組入れの外資建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要投資対象	<為替ヘッジあり>	マザーファンドを主要投資対象とします。
	<為替ヘッジなし>	マザーファンド
運用方法	<為替ヘッジあり>	先進国株式の株価指数先物と先進国債券の債券先物を主要投資対象とします。また米国短期国債に投資する投資信託証券や米国株式指数のプット・オプションにも投資を行います。なお、株式、公社債、短期金融資産に直接投資することもできます。
	<為替ヘッジなし>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への実質投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・マザーファンド以外の投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</li> <li>・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。</li> </ul>
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。</li> </ul>
分配方針	年2回（3月29日および9月29日、休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

## <参考情報>代表的な資産クラスとの騰落率の比較

<為替ヘッジあり>



<為替ヘッジなし>



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2016年9月～2021年8月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。なお、当ファンドは2021年5月11日設定のため、当ファンドの騰落率の平均値・最大値・最小値は記載していません。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

### ●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数（TOPIX）配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2021年9月29日現在）

<為替ヘッジあり>

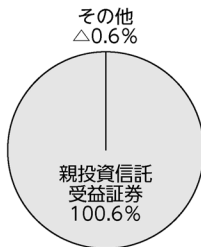
#### ●組入銘柄

(組入銘柄数：1銘柄)

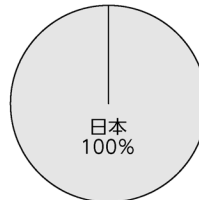
銘柄名	比率(%)
VLグローバルバランスマザーファンド	100.6

※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

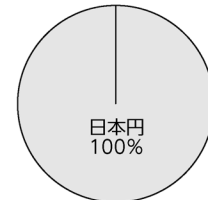
#### ●資産別配分



#### ●国別配分



#### ●通貨別配分



※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第1期末
	2021年9月29日
純資産総額	1,011,776円
受益権総口数	1,000,000口
1万口当たり基準価額	10,118円

※当期間（第1期）中における追加設定元本額は0円、解約元本額は0円です。

<為替ヘッジなし>

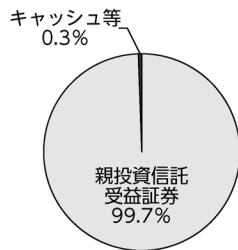
●組入銘柄

（組入銘柄数：1銘柄）

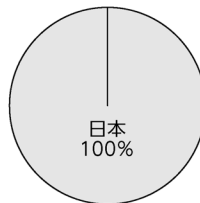
銘柄名	比率(%)
VLグローバルバランスマザーファンド	99.7

※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

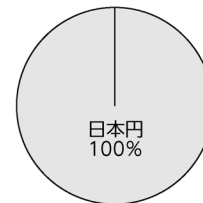
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

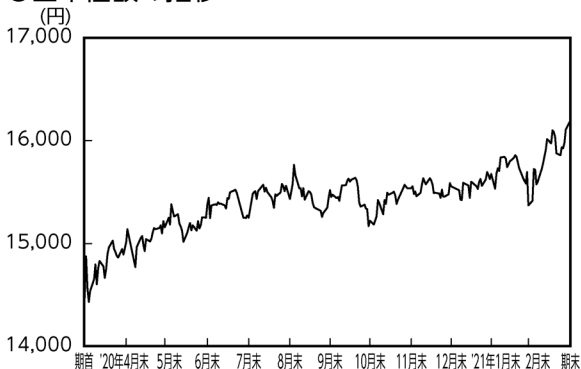
項目	第1期末
	2021年9月29日
純資産総額	1,037,248円
受益権総口数	1,000,000口
1万口当たり基準価額	10,372円

※当期間（第1期）中における追加設定元本額は0円、解約元本額は0円です。

## 組入ファンドの概要

VLグローバルバランスマザーファンドの組入資産の内容（2021年3月29日現在）

### ●基準価額の推移



### ●1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料	15円
(投資信託証券)	(3)
(先物・オプション)	(12)
その他費用	34
(保管費用)	(1)
(その他)	(33)
合計	49円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものです。なお、費用項目については3~4ページの注記をご参照ください。

※運用経過については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

### ●現物資産上位銘柄

（組入銘柄数：1銘柄）

銘柄名	資産	国	通貨	比率(%)
ISHARES 1-3 YEAR TREASURY BOND	投資証券	米国	米国ドル	59.9

### ●派生商品上位銘柄

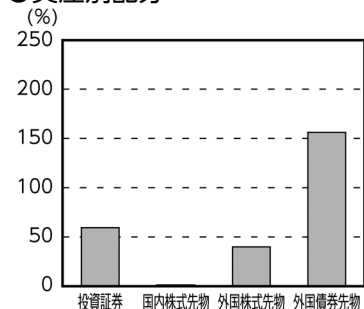
（組入銘柄数：6銘柄）

銘柄名	資産	国	通貨	比率(%)
米国10年国債先物	債券先物（買建）	米国	米国ドル	78.0
ドイツ10年国債先物	債券先物（買建）	ドイツ	ユーロ	77.9
S&P500種指数先物	株式先物（買建）	米国	米国ドル	32.4
EURO STOXX50指数先物	株式先物（買建）	ドイツ	ユーロ	6.3
日経225先物	株式先物（買建）	日本	日本円	2.1
FTSE100指数先物	株式先物（買建）	米国	英国ポンド	2.0

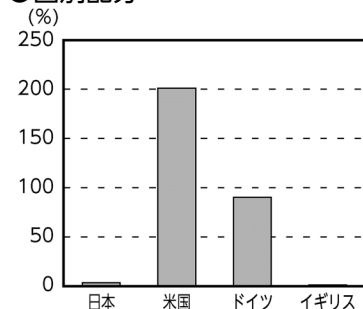
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

※全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

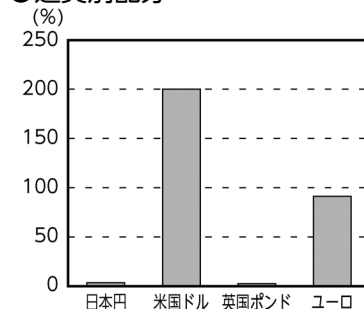
### ●資産別配分



### ●国別配分



### ●通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。